

スポンサー様

2017 JJSF ジェットスポーツ全日本選手権 第1戦

2017 JJSBA Championships R-1

Aquabike Japan Championship 2017 Round 1

開催日

4/15・16

開催場所

大阪府 二色の浜海浜緑地

出場クラス

JJSF: Pro Ski Open

JJSBA: A SKI

aquabike: Ski GP1

使用マシン

カワサキ製 SX-R

結果

JJSF 予選: 1位通過

決勝: **2位**

JJSBA 予選: 1位通過

決勝: **優勝**

Aquabike 予選: 1位通過

決勝: 5位

海外遠征から帰国後すぐに全日本選手権シリーズの開幕戦に参戦致しました。今シーズンも Bee-Tec さんにマシンを用意して頂けることになり、新型の SX-R での参戦となります。しかし SX-R のデリバリー時期が遅かったことや、タイツアー及び KARUJET 等の海外戦に参戦していたためにマシンのテストがあまりできず、実質レースまでに 2 回しかマシンのテストが行えませんでした。それでもマシンの仕上がりは良く、平水の海面においてはこれまでの 3 気筒のマシンに未だ敵いませんが、荒れた水面においてはそれらのマシンに匹敵するほどでした。JJSF と Aquabike の予選が行われた 15 日の午前中は、風が強く水面が荒れたコンディションでしたが、午後には風が止んで波がピタッと収まりました。同様に 16 日も 1 日中波も荒れず天候に恵まれた水面となりました。

JJSF Pro Ski Open

JJSF の予選は抽選によりインコースの内側から 4 番目でのスタートでした。スタートはタイミング良く飛び出すことができ、内側にいた選手と競りながらもラインをとってアクセルを握って行くことができたためインコースのホールショットを獲得しました。合流を 1 位で通過でき、そのまま 2 周目へ突入しました。その後は 2 位の選手との距離を離すことができず接近された状態が続きましたが、最終ラップまで逃げ切ることができ 1 位でのゴールとなりました。

決勝はインコースのポールポジションからのスタートでした。スタート後の 1 ブイでは外側にいた選手に先行されてしまいましたが、次のブイでは追い抜くことができインコースの 1 位で合流へと向かいました。合流ではアウトコースからの選手が先に到達したため、2 位で最終ブイを曲がり 2 周目へと向かいました。それからは 1 位の選手を追いかける展開となり、何度もチョイスコースを分かれるなどして攻めましたが追い抜くまでには至らず、2 位でのゴールとなってしまいました。

JJSBA A SKI

JJSBA の予選はインコースの内側から 4 番目でのスタートでした。タイミング良くスタートできホールショットを獲得しました。合流でも順位は変わらず、1 位でホームストレートを通しました。それからは 2 位の選手を徐々に引き離していくことができ、1 位で予選を通過することができました。

決勝はインコースのポールポジションからのスタートでした。予選同様にインコースでのホールショットを獲得することができ、合流ではアウトコースからの選手より若干早く最終ブイに到達することができたため 1 位で 2 周目へと向かいました。その後は 2 位選手

との差を徐々に広げていくことができ、危なげなく 1 位でゴールすることができました。

Aquabike

Aquabike の予選はインコースのポールポジションからのスタートでした。スタートでのタイミングも良くインコースのホールショットを獲得できました。合流ではアウトコースからの選手が先行し最終ブイに向かっていったものの、波によって旋回が大回りになった隙を突き 1 位でホームストレートを通すことができました。その後は 2 位の選手とのリードを広げていくことができ、1 位で予選を通すことができました。

決勝はインコースのポールポジションでのスタートを選択しました。スタートではトップスピードで他の選手に負けてしまいインコースの 3 位で合流へと向かいました。合流ではアウトコース 2 位の選手に続いて最終ブイを旋回し、5 位でホームストレートを通しました。その後は 4 位の選手を抜きにかかるもあと 1 歩が及ばず、順位を上げられず 5 位でゴールとなってしまいました。

レースを終えての感想

海外戦に引き続き、国内の開幕戦も無事に終えることが出来ました。結果だけを見れば JJSBA のみの優勝であり残念であると言えますが、とても少ないテスト時間であったにも関わらず 6 回行ったスタートの内 4 回はホールショットを獲得でき、これまでの 3 気筒のマシンと互角に戦えたことは新しいマシンを使用しているという上で上出来な結果であったと私は考えています。今回の結果や反省を踏まえてさらにマシンのテストを重ね、5 月の 20・21 日に行われる JJSF の第 2・3 戦では優勝できるようしっかりとマシン・ライダー共に仕上げていきたいと思えます。

次のレースは 4 月の 29・30 日に行われるタイツアーの第 2 戦です。今回はアメリカのプロウォータークラフトレーシングよりクリス・ハゲスト氏が来て下さることでさらにマシンのパワーアップをし、ワールドファイナル及びキングスカップに向けたテストも行っていきます。現地では Pro Force にしっかりと乗り込み、第 2 戦でも優勝できるように精進してまいります。

今後ともご支援、ご協力のほど宜しくお願い致します。



レーシングスポーツクラブメイエン

Bee-Tec

#23 小原 聡将